

ファクシミリ 品番 SFX-81CL 取扱説明書

—基本編—



この商品はニカド電池を使用しています。
ニカド電池のリサイクルにご協力ください。

ニカド電池はリサイクルへ
※本文中のバッテリーとはニカド電池のことです。

このたびは、サンヨーファクシミリをお買い上げいただきありがとうございました。

この取扱説明書は「基本編」と「応用編」の2部で構成されています。基本編では、日常よくお使いになる基本的な機能の使い方について説明しています。応用編では、より便利にお使いいただくためのいろいろな機能について説明しています。

ファクシミリをご使用の前に「基本編」「応用編」ともによくお読みのうえ正しくお使いください。特に基本編2～9ページは必ずお読みください。またお読みになられたあとも後々のため保証書とともに大切に保管してください。

も く じ

1 必ずお読みください

安全上のご注意	2
使用上のご注意	7

2 設置と準備

付属品の確認	10
各部の名前とはたらき	11
接続する	14
記録紙を入れる	16
子機を充電する	18
日付けと時刻を合わせる	19
テガキ登録用紙を使って登録する	20
登録のしかた	22
読み取った番号を修正するには	23
子機の短縮ダイヤルに登録する	24

3 基本的な使い方

原稿の画質を選ぶ	25
原稿をセットする	26
コピーをする	28
ファクスを送る	30
通話後、ファクスを送るには（手動送信）	30
自動でファクスを送るには（自動送信）	32
同じ相手にファクスを送り直す （再ダイヤル送信）	33
ファクスを受ける	34
電話モードで受けるには	35
ファクスモードで受けるには	36
留守モードで受けるには	37
電話をかける／受ける	38
親機で電話をかける／受けるには	38
子機で電話をかける／受けるには	39
留守番電話として使う	40
留守モードについて	40
留守モードの設定について	41
録音された用件を聞くには	42
録音された用件を消去するには	43

安全上のご注意



安全上
の
ご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全にお使いいただきあなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、注意事項を絵表示で示しています。




表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる程度を「警告」、「注意」の2つに区分しています。

安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

危害・損害の程度とその表示

 警告	この表示を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容です。

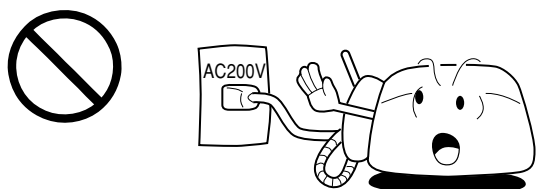
絵表示の例

	△ 記号は警告・注意を促す内容です。 左図の場合は一般的な注意が描かれています。
	⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。 左図の場合は分解禁止の表示です。
	● 記号は必ず実行していただきたい内容を告げるものです。 左図の場合は必ず電源プラグを抜いてほしい表示です。

警告

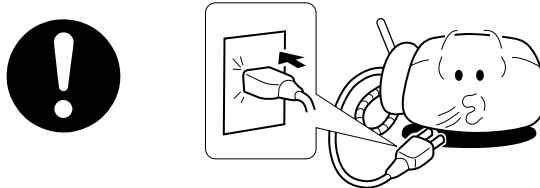
表示された電源電圧(AC100V)以外で使 しない

火災・感電の原因になります。



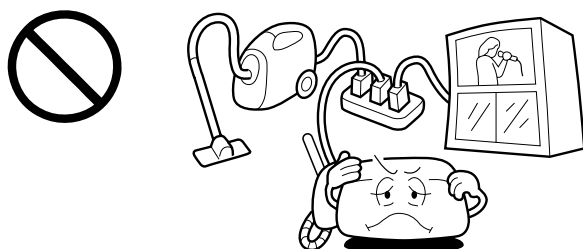
電源プラグは、刃にほこりが付着して いないか確認し、刃の根元まで確実に 差し込む

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、火災・感電の原因になります。



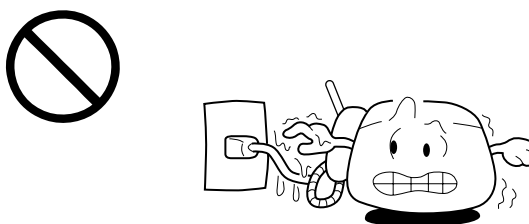
タコ足配線はしない

火災・感電の原因になります。



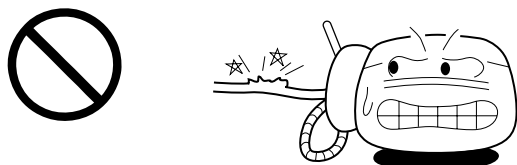
濡れた手で電源プラグにさわらない

感電の原因になります。



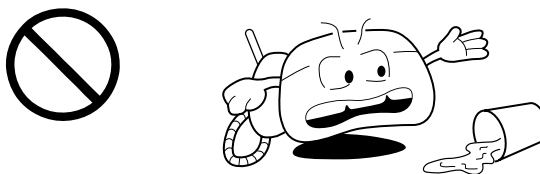
電源コードを傷つけない

コードを無理に曲げたり、引っばったり、コードの上に重いものを乗せたりしないでください。万一、コードが傷んだときは、販売店に交換を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。



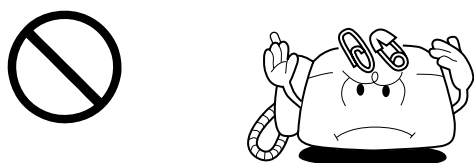
水で濡らさない

水滴がついたときは乾いた布で拭きとってください。万一、内部に水が入ったときは、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。



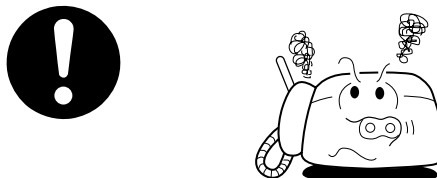
金属類を差し込まない

本機の開口部(原稿挿入口、原稿排出口、記録紙排出口等)から内部に金属類を差し込んだりしないでください。万一、異物が入ったときは、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。



異常が起きたときは

万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のときは、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。



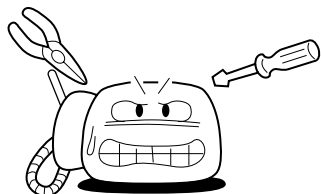
安全上のご注意



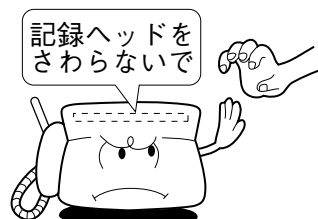
警告

分解・改造はしない

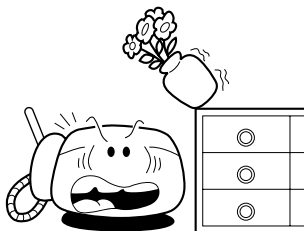
火災・感電の原因になります。

**本体内部の記録ヘッドにさわらない**

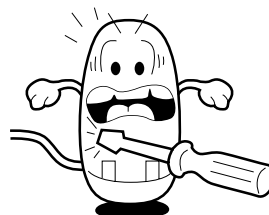
記録ヘッドとその周辺は高温になっていますので、手を触れないようにご注意ください。火傷する場合があります。

**上にものを置かない**

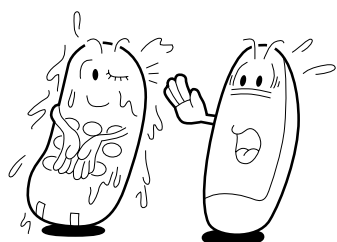
本機の上や近くに水などの入った容器を置かないでください。落下したり、こぼれたりすると、火災・感電の原因になります。

**充電端子を金属でショートさせない**

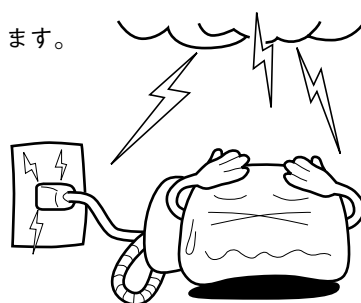
火災・感電の原因になります。

**充電端子に水滴がついたまま充電しない**

火災・感電の原因になります。

**雷が激しいときは、電源プラグ・電話回線コードにさわらない**

感電の原因になります。

**バッテリーを火の中に投げ入れない**

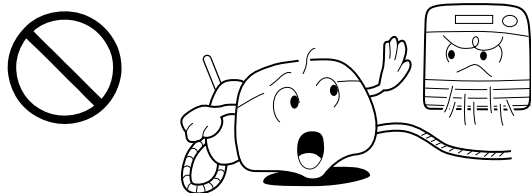
爆発すると、火災・けがの原因になることがあります。



⚠ 注意

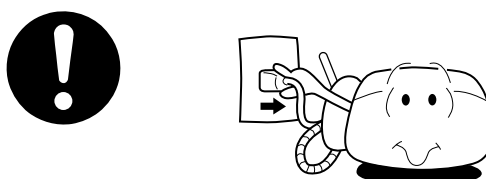
電源コードを熱器具に近づけない

コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因になることがあります。



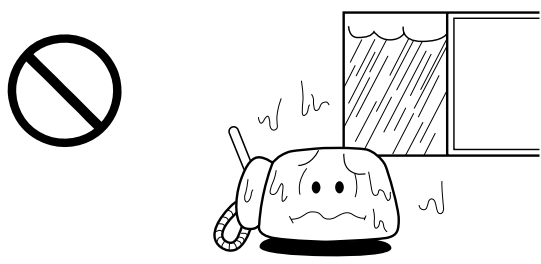
電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部を持って抜く

コードを引っばると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。



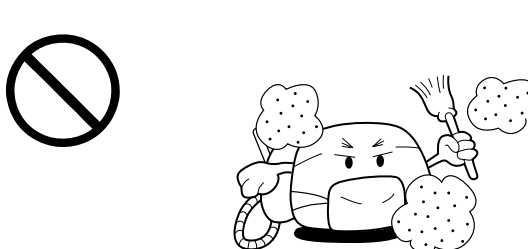
湿気の多い場所に置かない

火災・感電の原因になることがあります。



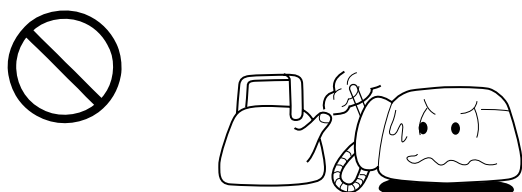
ほこりの多い場所に置かない

火災・感電の原因になることがあります。



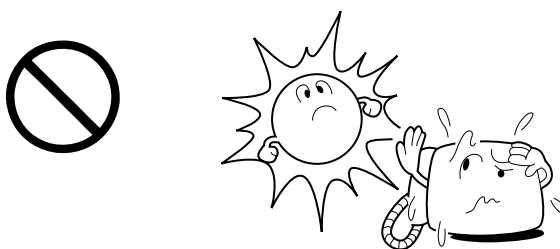
油煙や湯気が当たるような場所に置かない

調理台や加湿器のそばなどに置かないでください。火災・感電の原因になることがあります。



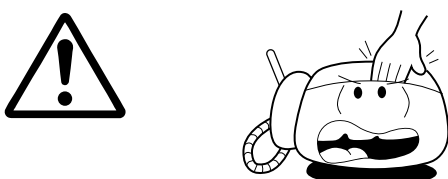
直射日光の当たる場所に置かない

内部の温度が上がり、火災の原因になることがあります。



指挟みに注意

開閉部の開け閉め（記録紙交換や原稿取り出し時など）のとき、指を挟まないよう、ご注意ください。けがの原因になることがあります。



移動させるときは電源プラグと電話回線コードを抜く

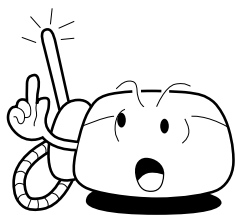
コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。



⚠ 注意

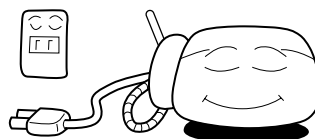
アンテナに注意

誤って目に触れると、けがの原因になることがあります。



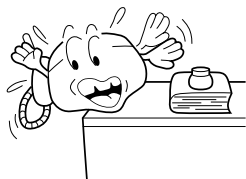
長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



不安定な場所や振動の多い場所には置かない

落ちたり、倒れたりすると、けがの原因になります。万一、本機の一部が破損したときは、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

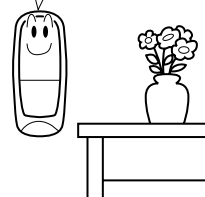


充電器を壁に取り付けるときはしっかり固定する

落下しないよう、柱など十分に固定できる場所に取り付けてください。落下すると、けがの原因になることがあります。



しっかりと固定



使用上のご注意

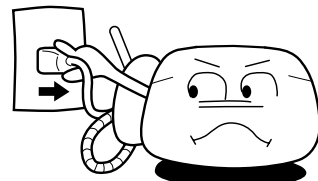
この「使用上のご注意」では、本機をお使いになるうえでの注意事項を説明しています。
内容をよく理解していただき、正しくお使いください。

セットした原稿やつまった原稿を無理に引き抜かないでください。

無理に引き抜くと原稿が破れたり、故障の原因となります。

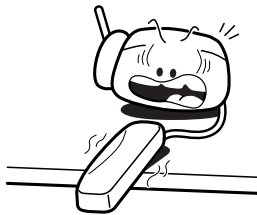


誤操作などにより操作を受けつけなくなったときは電源プラグを電源コンセントから抜き、2～3秒たってから再び電源コンセントに差し込んでください。



ハンドコピーを落としたり、ぶつけたりしないでください。

読み取り部のガラス等が割れてけがをしたり、故障の原因となります。



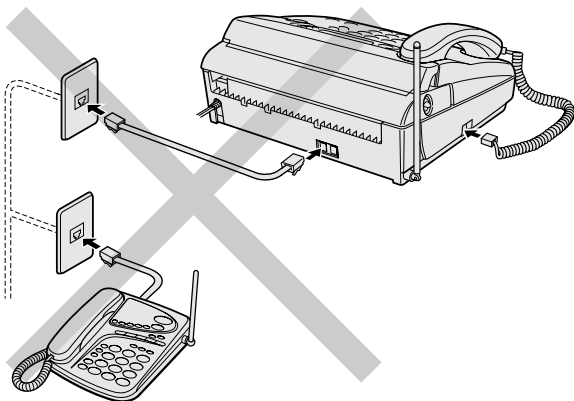
インクやのり、修正液、印肉を使用した原稿は完全に乾かしてからセットしてください。

乾かない状態で送信やコピーをすると、読み取りローラが汚れ、相手先の記録紙やコピーした記録紙に黒い線が入ったり、故障の原因となります。



同じ回線に他の電話機を接続（ブランチ接続）しないでください。

本機の機能が使えなくなったり、正常に動作しない場合があります。



送信や受信の動作中に操作パネルや記録紙収納部などを開けないでください。

動作中断や故障の原因となります。



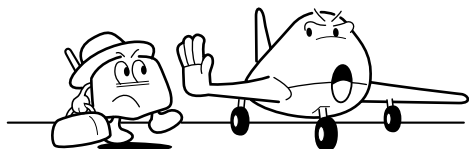
記録紙受け台について

- 記録紙受け台の上に記録紙がたまると、次に出てくる記録紙がつまることがありますので、その都度、取り除いてください。
- 壁に密着させて設置すると、排出される記録紙がつまることがありますので、記録紙受け台と壁の間に少し離して設置してください。

使用上のご注意

本機は国内専用機です。海外ではご使用になれません。

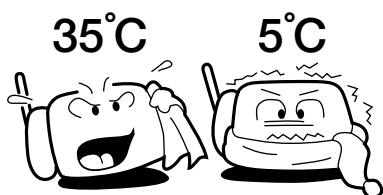
This facsimile is designed for use in Japan only, and can not be used in any other country.



この装置は、第二種情報装置（住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置）で住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しております。

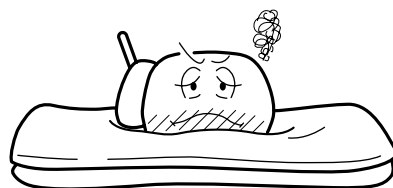
しかし、本装置をラジオ、テレビジョン受信機に近接してご使用になると、受信障害の原因になることがあります。

暑い場所や寒い場所には置かないでください。
35℃以上5℃以下では故障の原因となります。



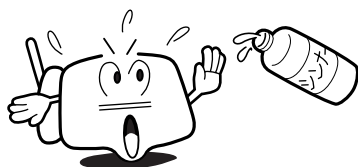
じゅうたん・布団・高級家具の上に置かないでください。

発熱により、変色や故障の原因となります。



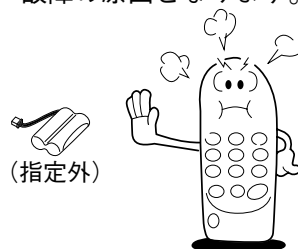
お手入れの際に、ベンジン、シンナー、アルコールなどを使用しないでください。

表面の仕上げをいため、変色・変形の原因となります。



子機のバッテリーを交換の際には、当社指定のバッテリーをお使いください。

誤動作・故障の原因となります。



ご使用にあたってのお願い

本機をご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。

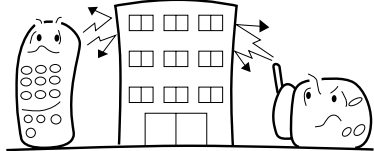
詳しくは、局番なしの116番（無料）へお問い合わせください。

コードレス電話機について

- 親機と子機の電波の届く距離は、周囲の環境によって異なりますが、半径約100mです。
コンクリート壁や金属性の扉などによって、電波の届く距離が短くなることがありますので、お使いになる前に内線通話をして、通話できる範囲を確かめてください。
- 近くを車やバイクが通ると、雑音が入ったり、通話が切れることがあります。
- 蛍光灯やブレーカーの入/切で通話がとぎれることがあります。
- 子機での通話は、電波を使用しているため、第三者に盗聴される恐れがあります。機密を要する重要な通話には、親機をお使いになることをおすすめします。
- 次のようなところでは使用しないでください。

親機と子機間の見通しの悪いところ

(雑音が入ったり、通話が切れることがあります)



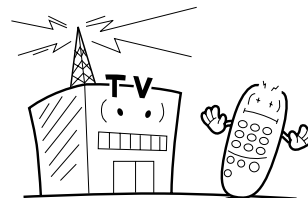
CDプレイヤーなどの電気製品やOA機器の近く

(雑音が入ったり、通話が切れることがあります)



放送局の近くや電波の強いところ

(誤動作や混信の恐れがあります)



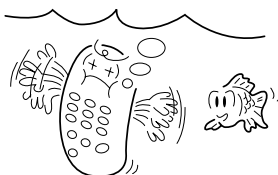
- 放送局の近くでお使いの場合、ラジオ放送などが混信するときは、お買い上げの販売店、または応用編94ページの「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

- 子機は、次のことにご注意ください。

流水にあてない



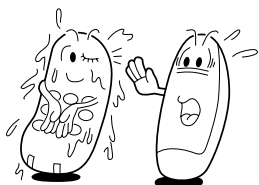
水の中につけない



濡れたまま放置しない



水滴がついたまま充電器に乗せない



- 濡れたとき、または水滴がついたときは、なるべく早く乾いた布などで拭き取ってください。
- シャンプー、中性洗剤などのついた手でさわると、変色等の原因になります。

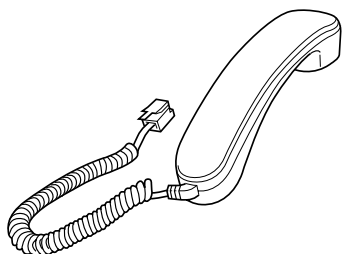
2

設置と準備

付属品の確認

本体および付属品がそろっていることを確認してください。もし足りないものがあった場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。

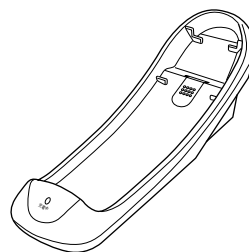
■付属品



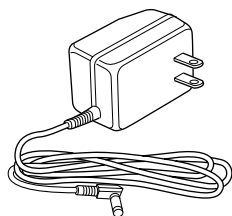
受話器（カールコード付き）… 1 台



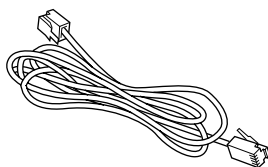
子機… 1 台



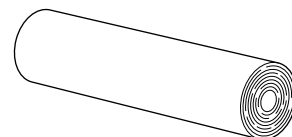
充電器… 1 台



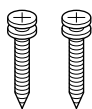
充電器専用ACアダプター… 1 個



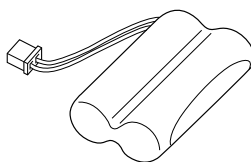
電話回線コード… 1 本



B4 サイズ感熱記録紙… 1 巻



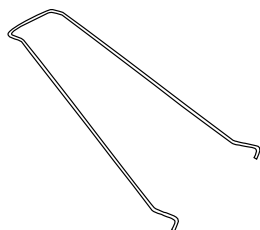
充電器専用壁掛け用ネジ… 2 本



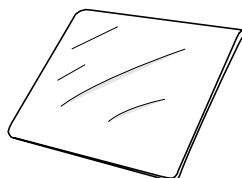
バッテリー… 1 個



バッテリーブタ… 1 個



記録紙受け台… 1 台

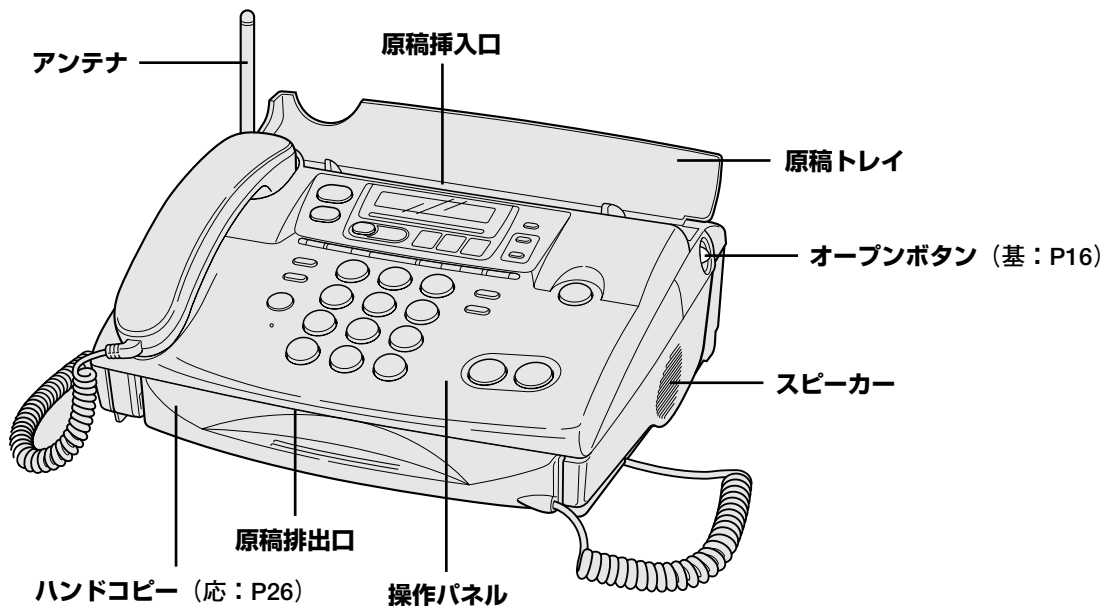


クリーニング用ウエス… 1 枚
（お手入れ用）

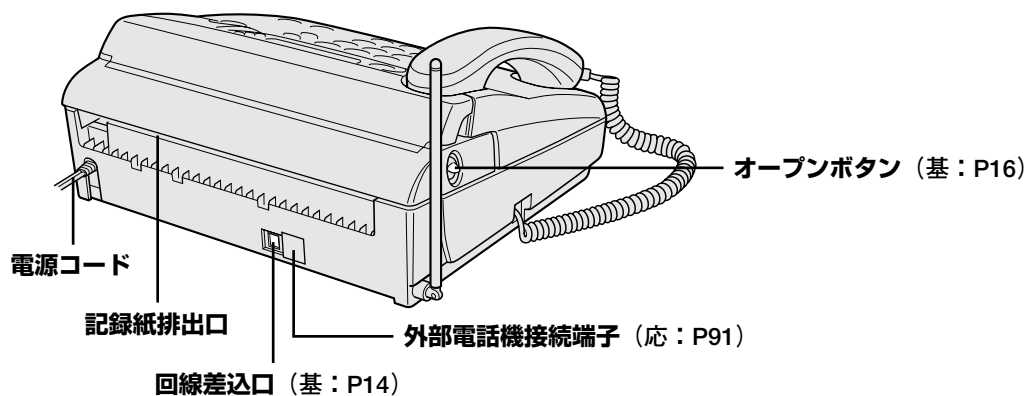
取扱説明書：基本編… 1 部
 応用編… 1 部
テガキ登録用紙… 3 枚
スーパーLCRご利用申込書… 1 部
スーパーLCRファクシミリ申込書… 1 枚

各部の名前とはたらき

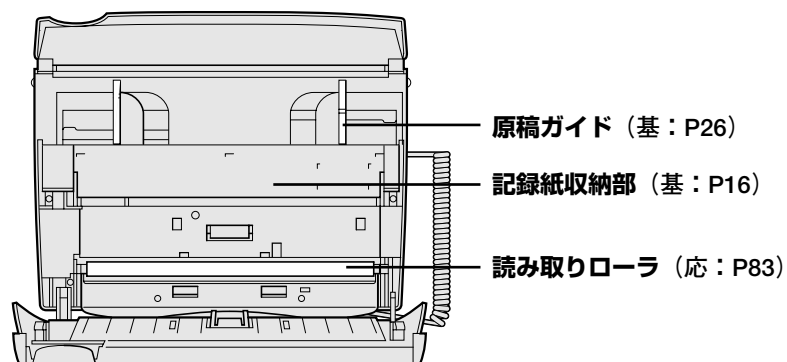
■前面／右側面



■背面／左側面



■内部



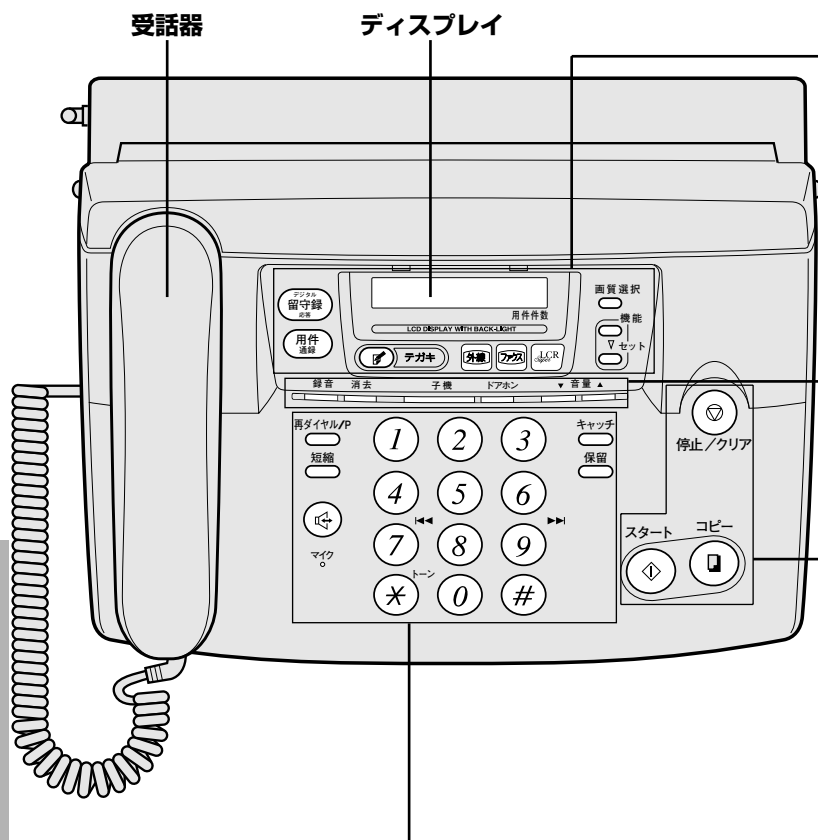
※本文中の「基：P00」は基本編の参照ページを示し
「応：P00」は応用編の参照ページを示しています。

2

設置と準備

各部の名前とはたらき

■操作パネル



各部の名前とはたらき

再ダイヤル/Pボタン

- 最後にダイヤルした相手に再度電話をかけたり、ファクスを送るときに使います。(基：P33, 応：P43)
- 海外へファクス送信するときなど、ポーズ(待ち時間)を入れるときに使います。(応：P25)

短縮ボタン

短縮ボタンと1桁の番号を押すだけで電話をかけたり、ファクスを送ることができます。(応：P22, 42)

(テブラ) ボタン (ランプ)

テブラ通話するときに使います。(応：P40)

マイク

テブラ通話するときや応答メッセージを録音するときに使います。(応：P40, 53)

ダイヤルボタン

電話をかけたり、文字を入力するときなどに使います。

- ⑦ (I<<), ⑧, ⑨ (▶▶) ボタンは、聞いている用件を飛びこしたり、応答メッセージを切り替えるときに使います。(基：P42, 応：P54, 56)
- ✳ (トーン) ボタンは、ダイヤル回線をご使用の場合、プッシュホンサービスを利用するときに使います。(応：P47)
- # (シャープ) ボタンは、国際送信を設定するときや文字を入力するときに使います。(応：P20, 25)

キャッチボタン

- キャッチホンサービスを利用するときに使います。(応：P47)
- 構内交換機に接続しているとき、かかってきた電話を他へまわすときに使います。(応：P76)

保留ボタン

通話を保留するときに使います。(応：P44)

留守録/応答ボタン (ランプ)

留守モードに設定するときに使います。(基：P34, 40, 41)

用件/通録ボタン (ランプ)

用件や通話録音を再生するときに使います。(基：P40, 42)

テガキボタン (ランプ)

- ・自局登録や短縮ダイヤルを登録するときに使います。(基：P22, 応：P13)
- ・テガキ送信をするときに使います。(応：P30)

外線ランプ

ファクスランプ (基：P31)

LCRランプ (応：P72)

画質選択ボタン

原稿の文字の大きさに合ったモードを選ぶときに使います。(基：P25)

機能ボタン

機能を選択するときに使います。

セットボタン

機能を設定・登録するときに使います。

録音ボタン

応答メッセージの録音や通話録音をするときに使います。(応：P46, 53)

消去ボタン

用件を消去するときに使います。

(基：P43)

子機ボタン

子機を呼び出すときに使います。

(応：P48, 50)

ドアホンボタン

ドアホン通話するときに使います。

(応：P80)

音量ボタン [▼] [▲]

音量を変更するときに使います。

(基：P38, 応：P45)

停止/クリアボタン

ファクスの送受信やコピーを停止するときなどに使います。

スタートボタン

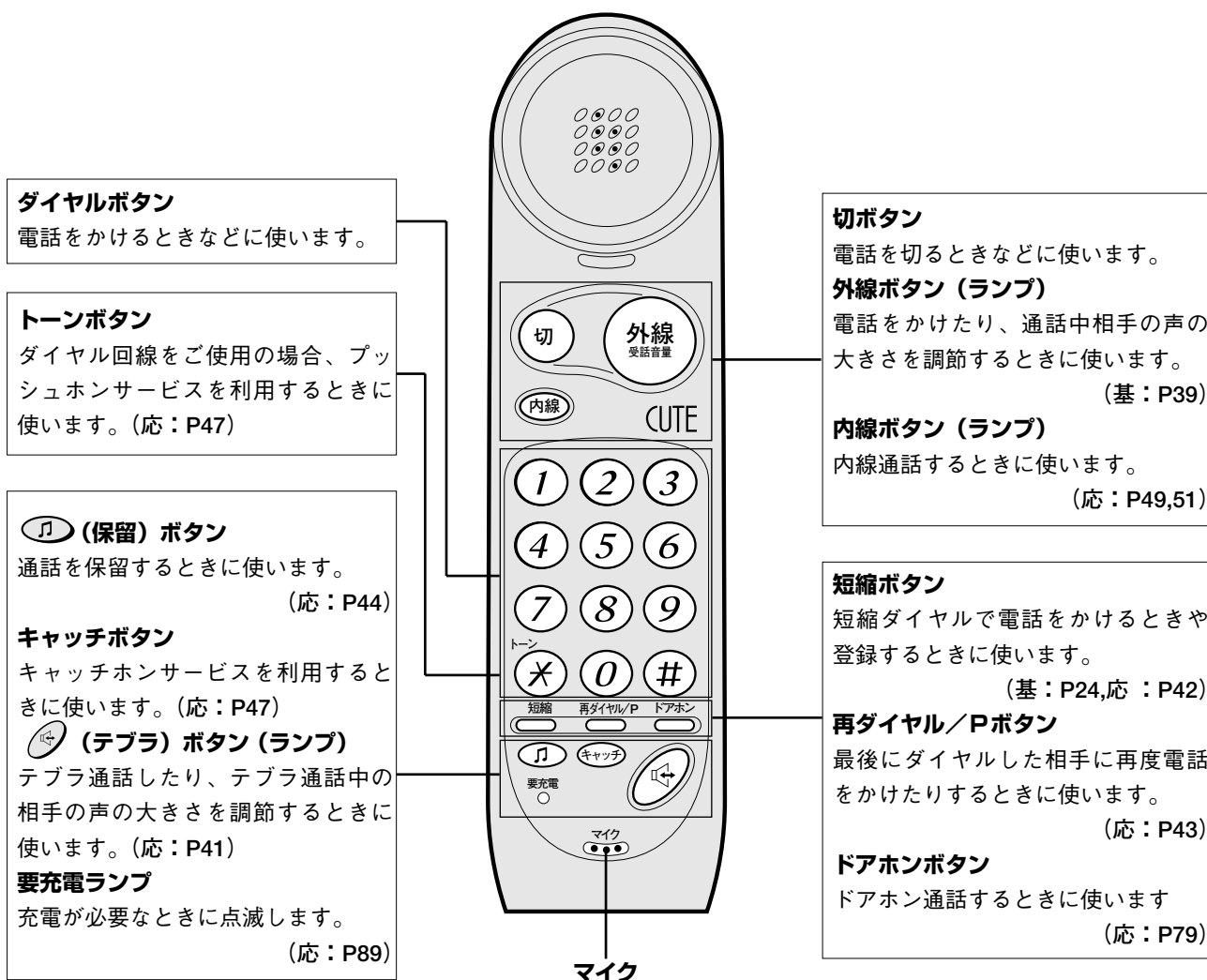
ファクスの送受信やコピーをするときに使います。

コピーボタン

コピーをするときに使います。(基：P28)

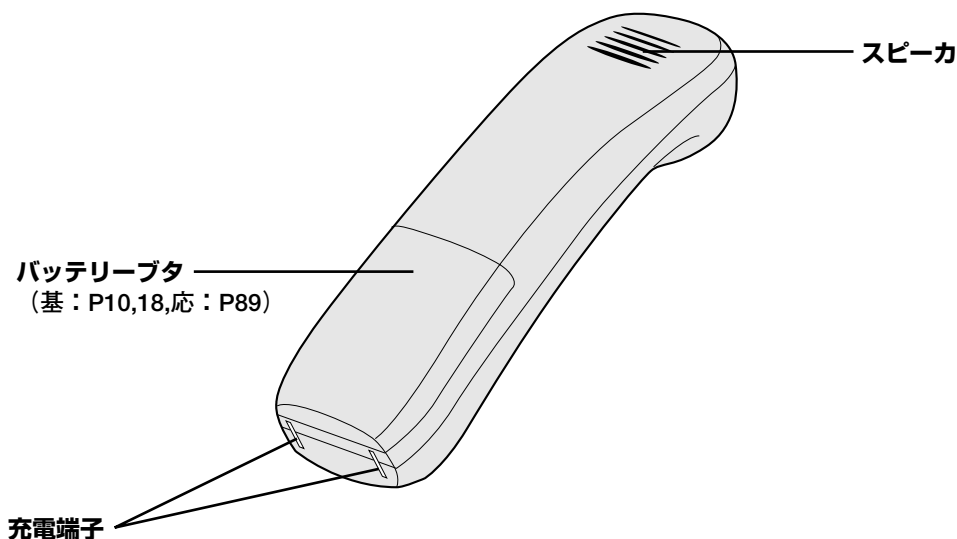
各部の名前とはたらき

前 面



各部の名前とはたらき

背 面



2

設置と準備

接続する

電話回線コードを接続すると、ご利用になっている電話回線の種類を自動的に選択します。

電源プラグを差し込む前に、電話回線コードを接続してください。

次の手順に従って接続してください。

5

記録紙受け台を取り付ける

- ・B4サイズの記録紙を使用するとき
右の穴と中の穴に記録紙受け台を差し込む
- ・A4サイズの記録紙を使用するとき
両端の穴に記録紙受け台を差し込む

6

アンテナを立ててのばす

1

**受話器のカールコードを
本体の差込口に差し込み
受話器を本体にのせる**

記録紙受け台

電源コンセント
(AC100V)

回線差込口

受話器カール
コード差込口

外部電話機接続端子

停電時に電話をかけたたり、受けたたり
するための電話機が接続できます。
(応：P91)

2

**電話回線コードを
本体の回線差込口
に差し込む**

4

電源プラグを電源コンセントに差し込む

- ➡電話回線の自動選択を行ないます。
自動選択が終わると、ディスプレイに
「キロクシテンケン! 00」と表示されます
ので記録紙を入れてください。(基：P16)
- ※回線の自動選択ができなかったときには、メロ
ディーが流れディスプレイに機能説明が表示
されます。停止/クリアボタンを押し、次ペ
ージの『自分で電話回線の種類を合わせるには』
の手順に従って操作を行なってください。
操作を行なわなかったときは、3分後に再びメロ
ディーが流れ、ディスプレイに機能説明が表示さ
れます。

3

**電話回線コードを電話用コンセント
(モジュージャック) に差し込む**

電話用コンセント



お願い.....

- 同じ回線に他の電話機を接続しないでください。正常に動作しない場合があります。(基：P7)



告知板.....

- 電話回線コードを接続する前に電源プラグを電源コンセントに差し込むと、外線ランプとLCRランプが点灯し「ピピピピ」と鳴りながらディスプレイに「デンワ カイセン チェック」と「カイセンヲ セツゾククダサイ」が交互に表示(10回)されますので、その間に電話回線コードを接続してください。電話回線の種類を自動選択した後「キロクシテンケン! 00」と表示されます。
接続しなかったときには、メロディーが流れディスプレイに機能説明が表示されます。このときでも、電話回線コードを接続すればメロディーがとまり、電話回線の種類を自動選択した後、「キロクシテンケン! 00」と表示されます。
- 構内交換機に接続してお使いになると、交換機の種類によっては正しく動作しない場合があります。

自分で電話回線の種類を合わせるには

●電話回線の種類を変更契約したとき

本機は電話回線の種類を自動的に選択し記憶します。よって、別の電話回線に接続したときや電話回線の種類を変更契約されたときに電話がかけられなくなることがあります。

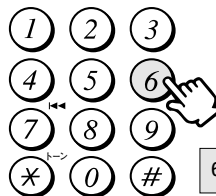
このときは、自分で電話回線の種類を合わせてください。

1 機能ボタンを押す



1: ホーリング シュシン?

2 ダイヤルボタンの【6】を押す



6: デンワキノウセツテイ ?

3 セットボタンを2回押す



1: ダイヤル ホウシキ ?



デンワ カイセン: 20pps

10pps, 20pps, トーンのいずれかが表示されます。

4 機能ボタンをくり返し押して使用している電話回線の種類を選ぶ

10pps: ダイヤル回線10pps

20pps: ダイヤル回線20pps

トーン: プッシュ回線



<例: プッシュ回線のとき>

デンワ カイセン: トーン

5 セットボタンを押す

「ピー」と鳴って設定が終わります。



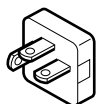
2: シュシンモート キリカエ?

6 停止/クリアボタンを押す

電話コンセントがモジュラー以外の場合

■3ピンプラグ式の場合

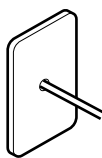
市販のモジュラー付き電話キャップをお買い求めください。



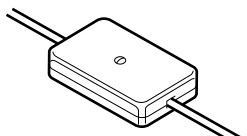
3ピンプラグ

■直接配線の場合

お買い上げの販売店に相談し、資格を持った人に工事を依頼してください。工事は有料です。



電話機プレート



ローゼット



告知板.....

- 電話回線の種類が不明な場合はNTTの支店・営業所にお問い合わせください。
- ISDN回線をご使用になっている場合、接続するTA（ターミナルアダプター）の種類によっては、正しく動作しないことがあります。

2

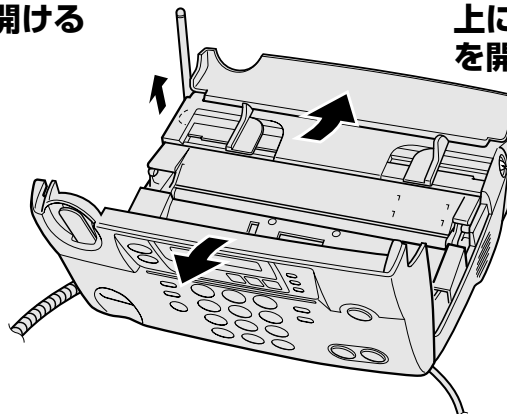
設置と準備

記録紙を入れる

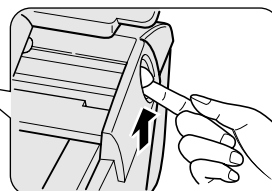
次の手順に従って記録紙を入れてください。お買い上げ時は、B4サイズの記録紙が付属されています。

記録紙の入れ方

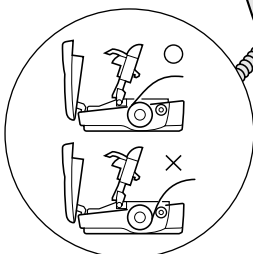
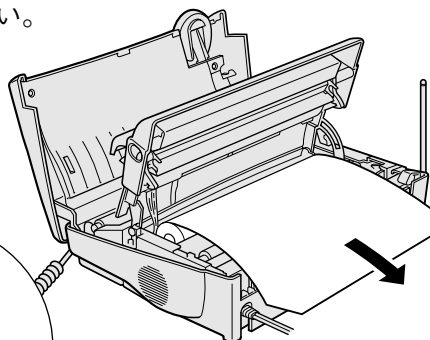
- 1** 受話器を取り、原稿トレイと操作パネルを開ける



- 2** 左右のオープンボタンを上へ引き上げながら記録紙収納部を開ける

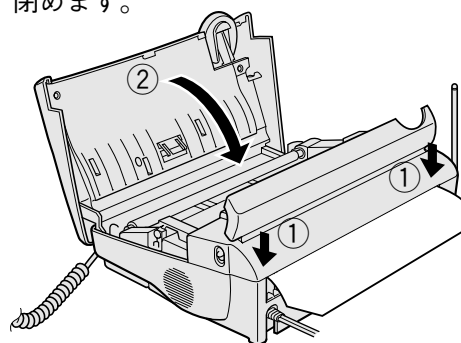


- 3** 記録紙を入れて先端を外へ引き出す
●記録紙の先端を10cm程度外へ引き出してください。

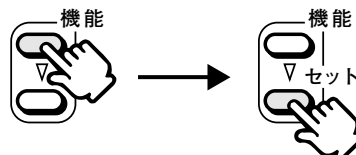


※たるみをなくし
巻方向に注意して
入れてください。

- 4** 記録紙収納部と操作パネルを閉めて受話器を戻す
●記録紙収納部の両端を押して「カチッ」と音がするまで閉めてから、操作パネルを閉めます。



- 5** 記録紙サイズを設定する
●ディスプレイに「キロクシ サイズ： B4 ?」と約20秒間表示されます。その間に機能ボタンを押して記録紙のサイズを選びセットボタンを押してください。設定が終わると、記録紙が自動的に切り取られます。



メモ

- 手順5で何も操作しなかったときは自動的にB4サイズに設定されます。
- 記録紙サイズの設定を変更するには手順1～2⇒記録紙の先端を外へ引き出す⇒手順4～5



告知板

- A4サイズの記録紙を入れて記録紙サイズをB4に設定したときは、B4サイズの前稿が送られてくると、左端が印刷されません。



お願い

- 記録紙の交換や原稿つまりなどで操作パネルなどを開けるときには突起物にご注意ください。引っかけてけがの原因になることがあります。

記録紙について

●記録紙の取り扱いに際しては、次の点にご注意ください。

- ・直射日光に当てたり、高温・多湿の場所には置かないでください。変色の原因となります。
- ・硬いものでこすったり、薬品・油などを付けないでください。変色・記録消えの原因となります。
- ・粘着テープ、のり、接着剤を付けないでください。変色の原因となります。
- ・塩化ビニール系プラスチックと重ねたりしないでください。変色・記録消えの原因となります。

●記録紙の端に赤い線が出てきたら

記録紙が残り少なくなってきたときに（約2m）出てきます。新しい記録紙に交換してください。

●記録紙がなくなったら

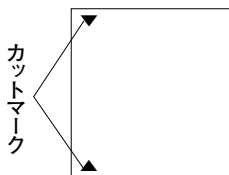
内蔵のメモリが代わって受信内容を記憶します。（応：P36「メモリ代行受信」）

●記録紙を交換したときは

コピーをして記録紙が正しく入っているか確認してください。

●A4位置カットマーク

B4サイズの記録紙を使用しているとき、A4幅以下の原稿を受信やコピーをすると、A4幅の位置にカットマークを印刷します。



- ・A4サイズの記録紙を使用しているときは、カットマークは印刷されません。
- ・拡大コピーをしたときも、カットマークは印刷されません。（ただし、ハンドコピーを使って「B5拡大」に設定したときはカットマークが印刷されます。）

●普通紙ライク感熱紙が使えます。

普通紙ライク感熱紙とは、通常の感熱紙に比べ保存性が良く、蛍光ペンや朱肉にも変色しにくい普通紙に近い感熱記録紙のことです。本機は、通常の感熱記録紙と普通紙ライク感熱紙が使えます。

●当社指定の記録紙をお使いください。

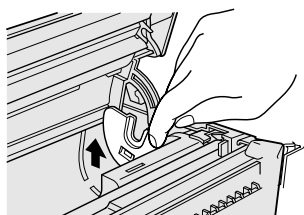
指定外の記録紙を使うと、受信やコピーの記録が薄くなったり、故障の原因となります。

●記録紙のご注文は

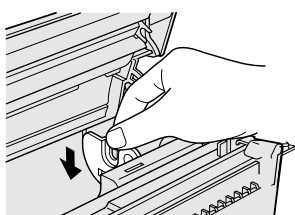
感熱記録紙	普通紙ライク感熱紙
JH-B4TV (B4×30m、芯径1/2インチ)	JH-B4TH (B4×25m、芯径1/2インチ)
JH-A4TV (A4×30m、芯径1/2インチ)	JH-A4TH (A4×25m、芯径1/2インチ)

A4サイズの記録紙を使うとき

1 仕切り板を取り外す



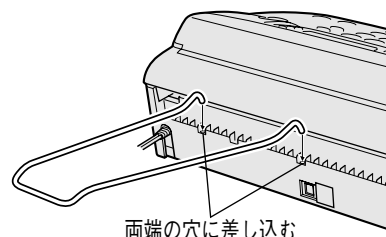
2 取り外した仕切り板をA4サイズの位置に取り付ける



3 記録紙サイズを設定する

記録紙を入れて記録紙収納部を閉めるとディスプレイに「キロクシ サイズ： B4 ?」と約20秒間表示されます。機能ボタンを押してA4サイズを選びセットボタンを押してください。

4 記録紙受け台の位置を変更する



2

設置と準備

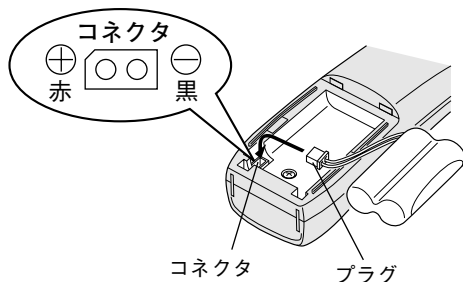
子機を充電する

充電のしかた

初めてお使いになるときや、バッテリーを交換したときは、必ず充電してください。

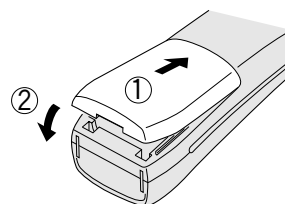
1 バッテリーのプラグの向きを間違えないように接続する

プラグをコネクタに差し込み
バッテリーを入れます。

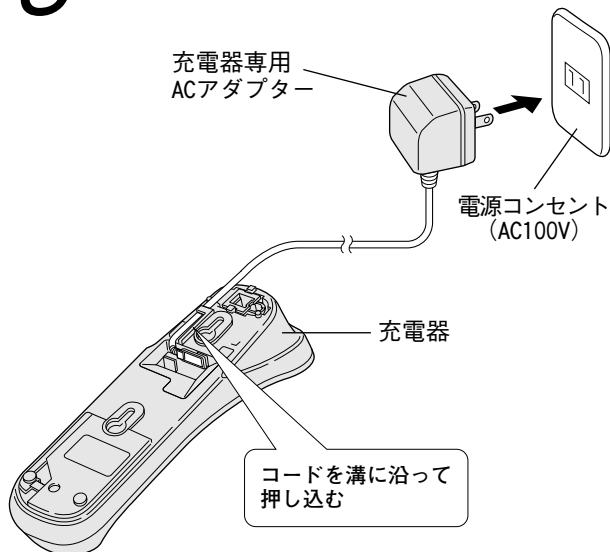


2 バッテリーブタを閉める

「カチッ」と音がするまで閉めてください。

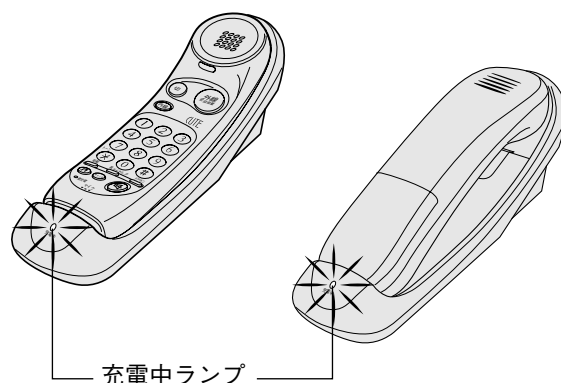


3 充電器専用ACアダプターを接続する



4 子機を充電器に置いて充電する

充電中は、充電器の充電中ランプが点灯します。



ダイヤル面を上に向けても下に向けても
充電できます。



メモ

- **充電時間のめやすは**
約12時間です。
- **使用時間のめやすは**
連続通話 : 約8時間
待ち受けのみ : 約150時間
- 子機をお使いのあとは、常に充電器に戻しておくことをおすすめします。子機のバッテリーが消耗すると子機は使えません。



告知板

- バッテリーの容量がなくなると、要充電ランプが約10秒ごとに点滅します。通話中は約20秒ごとに「ピピッ」という音が鳴ります。すぐに充電してください。
- バッテリーの寿命は使い方により異なりますが約3年です。いっぱい充電してもすぐに要充電ランプが点滅するときは、新しいバッテリーと交換してください。
(応: P89)
- いっぱいに充電されても充電中ランプは消えません。そのまま充電を続けても問題はありません。

日付けと時刻を合わせる

親機には、時計が内蔵されています。ご使用になる前に、日付けと時刻を合わせてください。

設定のしかた

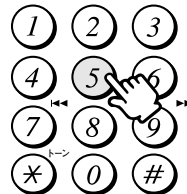


1 機能ボタンを押す



1:ホーリング シュリン?

2 ダイヤルボタンの【5】を押す



5:ファクスノウセッテイ ?

3 セットボタンを2回押す



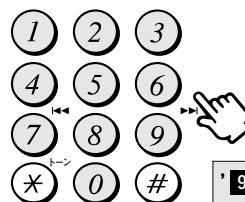
1:シコク セッテイ ?



'97 02月17日 12:00

4 日付けと時刻を ダイヤルボタンで入力する

<例: 1997年3月28日午後3時26分>
9・7・0・3・2・8・1・5・2・6と
入力する



'97 03月28日 15:26

5 セットボタンを押す

「ピー」と鳴って設定が終了し、時計がスタートします。



2:シキョクメイ トウロク ?

6 停止/クリアボタンを押す

3月28日 15:26 00

西暦は表示されません。

日付けと時刻を合わせる



メモ.....

●入力を間違えたときは

(*) (左へ移動)、(#) (右へ移動) を押してカーソルを間違えた位置に移動させて正しい数字を入力し直してください。

●入力の形式

- ・西暦は下2桁で入力します。
- ・月日は月2桁、日2桁を入力します。

<例> 7月8日

0・7・0・8と入力します。

- ・時刻は24時間制で入力します。

<例> 午前9時5分

0・9・0・5と4桁で入力します。



告知板.....

- 内蔵の時計は、あくまで目安としてご利用ください。なお、誤差が生じたときは設定し直してください。

文字コード表

	カタカナ					英字 (アルファベット)					記号／数字				
文 字	ア	イ	ウ	エ	オ	A	B	C	D	E	空白	?	!	—	/
コード	11	12	13	14	15	16	17	18	19	10	00	67	68	69	60
文 字	カ	キ	ク	ケ	コ	F	G	H	I	J	+	&	=	<	>
コード	21	22	23	24	25	26	27	28	29	20	76	77	78	79	70
文 字	サ	シ	ス	セ	ソ	K	L	M	N	O	()			
コード	31	32	33	34	35	36	37	38	39	30	82	84			
文 字	タ	チ	ツ	テ	ト	P	Q	R	S	T	#	*	'	”	・
コード	41	42	43	44	45	46	47	48	49	40	86	87	88	89	80
文 字	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	U	V	W	X	Y	.	,	:	;	
コード	51	52	53	54	55	56	57	58	59	50	96	97	98	99	
文 字	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	Z					1	2	3	4	5
コード	61	62	63	64	65	66					#1	#2	#3	#4	#5
文 字	マ	ミ	ム	メ	モ	a	b	c	d	e	6	7	8	9	0
コード	71	72	73	74	75	*16	*17	*18	*19	*10	#6	#7	#8	#9	#0
文 字	ヤ		ユ		ヨ	f	g	h	i	j					
コード	81		83		85	*26	*27	*28	*29	*20					
文 字	ラ	リ	ル	レ	ロ	k	l	m	n	o					
コード	91	92	93	94	95	*36	*37	*38	*39	*30					
文 字	ワ	ヲ	ン	ゝ	゜	p	q	r	s	t					
コード	01	02	03	04	05	*46	*47	*48	*49	*40					
文 字	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	u	v	w	x	y					
コード	*11	*12	*13	*14	*15	*56	*57	*58	*59	*50					
文 字			ッ			z									
コード			*43			*66									
文 字	ャ		ュ		ヨ										
コード	*81		*83		*85										



メモ

- 一つの文字コード（2桁または3桁）は、行を変えて記入しないでください。正しく読み取れません。
- 名前を登録するとき、記入枠を空けて記入しても空白（スペース）として登録されません。空白（スペース）を登録するときは [0] [0] と記入してください。また、電話番号には空白（スペース）を登録することはできません。

- 文字コード表は、親機で「テガキ登録ガイド」として印刷することができます。時刻表示画面のときに、テガキボタンを押すと印刷されます。このとき、「記入ガイド」も同時に印刷されます。※「記入ガイド」は、テガキ送信をするときにご利用ください。（応：P30）



告知板

- テガキ登録用紙を曲げたり折ったり汚したりしないでください。番号が読み取れなくなる場合があります。

登録のしかた



メモ・・・・・・・・・・・・・・・・

- 読み取った文字に間違いがあったとき、またはディスプレイに「ヨミトレマセン!」、「コードヒョウカクニン!」、「キニユウホウホウカクニン!」などと表示され「ピッピ」と鳴り、登録レポートが印刷されたときは右ページの『読み取った番号を修正するには』を参照して登録し直してください。
- 読み取り中に電話がかかってきたときは受話器を取り上げると、相手が電話であればそのまま話ができます。ファクスの場合、受信に切り替えたいときは、停止／クリアボタンを押して、テガキ登録用紙を排出させ、スタートボタンを押してください。2枚以上のテガキ登録用紙を入れている場合は、1枚目の登録用紙が排出されている間に、残りの登録用紙を取り除いてください。



告知板・・・・・・・・・・・・・・・・

- テガキ登録用紙を3枚同時にセットし、自局登録、短縮ダイヤルを一緒に登録することができます。
- 子機の短縮ダイヤルの登録に、テガキ登録用紙は使えません。基本編24ページ『子機の短縮ダイヤルに登録するには』をお読みください。
- 名前や電話番号を登録しておく、と、送信したとき、相手の記録紙に発信元として印字することができます。発信元印字をする場合、「原稿内にする」か「原稿外にする」かを設定することができます。また印字しないように設定することもできます。お買い上げ時は「原稿外にする」に設定されています。

(応：P12～17)

●発信元印字の例

<原稿外印字>

' 97	3月28日 15:33	HARUKA	FAX1234567890	P. 1
(原稿)				

<原稿内印字>

' 97	3月28日 15:33	HARUKA	FAX1234567890	P. 1
(原稿)				

- テガキ登録用紙を使わないで、ダイヤルボタンで自局登録や短縮ダイヤルの登録をすることもできます。

(応：P18)

1 付属のテガキ登録用紙に文字コードと電話番号を記入する (基本編20ページ)

テガキ登録用紙 (1)									
**0 自局登録 名前: サンヨーファクス									
3	1	1	0	3	8	5	6	7	0
0	4	3	8	1	1	1	2	3	3

2 機能ボタンを押す



1: ホーミング シュン?

3 テガキボタンを押す

「ビビビビビ」と30秒間鳴ります。



トウロクヨウシ セット !

4 「ビビビビビ」と鳴っている間にテガキ登録用紙を裏向きにして入れる

原稿ガイドを合わせてまっすぐに入れてください。



<自動的にテガキ登録用紙の読み取りを始める>

テガキ登録用紙が排出され、ディスプレイに「*モジ ケンサク チュウ*」と表示されます。

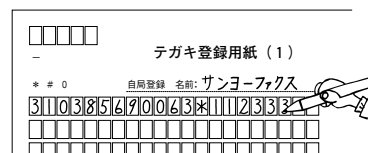
ディスプレイに読み取った文字が順に表示されます。すべての表示が終わると、登録レポートが印刷されますので、正しく登録されているか確認してください。

読み取った文字コードまたは数字に間違いがあったり、読み取れない文字コードまたは数字があったときは次の手順で修正してください。

読み取った番号を修正するには



1 読み取れなかったり、間違った文字コードまたは数字を書き直す



2 修正場所を テガキ登録用紙に指定する (左下の「修正場所の指定のしかた」を参照)

3 機能ボタンを押す



1: ホーリング シュシン?

4 テガキボタンを押す

「ビビビビビ」 と30秒間鳴ります。



トウロクヨウシ セット !

5 「ビビビビビ」と鳴っている間に テガキ登録用紙を裏向きにして 入れる



修正場所の指定のしかた

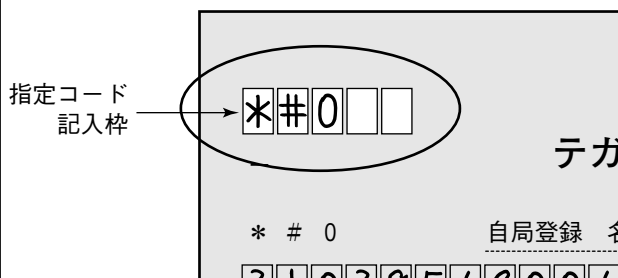
●テガキ登録用紙の左上の記入枠に指定コードを記入します。

- ・自局登録の場合は、「*#0」と記入します。
- ・短縮ダイヤルの場合は、「**」と「**修正する短縮番号 (0～9)**」を記入します。

例: 短縮3を修正するとき

****3** と記入します。

●記入例 (自局登録)



メモ.....

- 1枚のテガキ登録用紙は、1ヵ所の登録先のみ修正ができます。数ヵ所の登録先を修正するときは、右の操作をくり返し行なってください。
- また、テガキ登録用紙を3枚同時にセットし、3ヵ所の登録先を修正することもできます。

<自動的にテガキ登録用紙の読み取りを始める>

テガキ登録用紙が排出され、ディスプレイに「*モジ ケンサク チュウ *」と表示されます。

ディスプレイに「* シテイ ケンサク チュウ *」と表示後、読み取った文字が順に表示されます。すべての表示が終わると、登録レポートが印刷されますので正しく登録されているか確認してください。

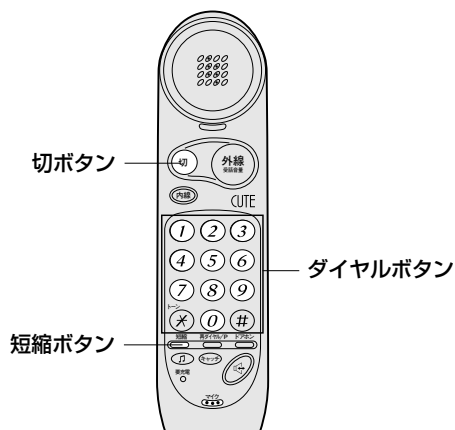
2

設置と準備

子機の短縮ダイヤルに登録する

子機の短縮ダイヤル（10カ所）には、相手の電話番号を最大16桁まで登録できます。

子機の短縮ダイヤルに登録するには



1

充電器から取りあげ切ボタンを押す

外線ボタンが消灯します。

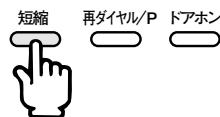
充電器から外しているときは、外線ボタンが消灯していることを確認してください。



2

短縮ボタンを押す

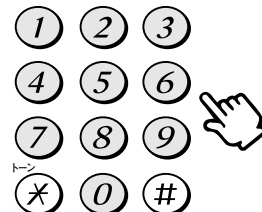
「ピッ」と鳴ります。



3

相手先の電話番号を押す

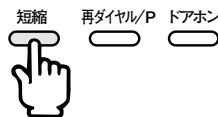
最大16桁まで登録できます。



4

短縮ボタンを押す

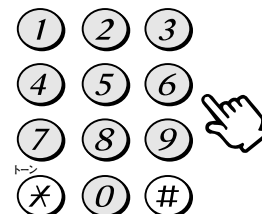
「ピッ」と鳴ります。



5

短縮番号（0～9の1桁の数字）をダイヤルボタンで押す

「ピー」という音が鳴って、登録が終了します。



6

充電器に戻す



メモ.....

●短縮ダイヤルを続けて登録するには

手順5終了後⇒手順2～5

●登録を中止するには

切ボタンを押します。

●登録内容を変更するには

上書きすることで登録内容を変更することができます。

●登録内容を取り消すには

手順3を除いて操作します。

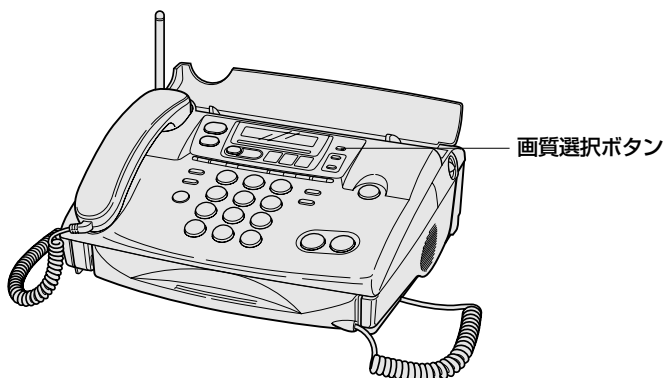
●電話番号にポーズ（待ち時間）を入れて登録するには

ポーズ（待ち時間）を入れたいときは、再ダイヤル／Pボタンを押します。1回押すごとに約3秒のポーズが入力されます。ポーズ時間は変更することもできます。（設定は親機で行ないます）お買い上げ時は「3秒」に設定されています。（応：P12～17）ポーズも1桁に数えます。

原稿の画質を選ぶ

ファクスをきれいに送信するには、文字の大きさや原稿に写真が入っているかにより、適切な画質の種類を選ぶ必要があります。

原稿の画質を選ぶには

1 画質選択ボタンを押して
画質の種類を選ぶ

次の4種類の画質が表示されますので、適切な画質を選んでください。

- ヒョウジュン：新聞文字より大きな文字
- コマカイ：新聞文字程度の文字
- セイサイ：新聞文字より小さな文字
- シャシン：写真やカタログなどの原稿

画質選択



<例：「細かい」を選んだとき>

コマカイ

00



メモ

- 原稿の文字が薄くてきれいに送信やコピーができない場合は、メモリスイッチNo.28「原稿種類」(応：P12～17)を「ウスイ」に設定してください。
お買い上げ時は「フツウ」に設定されています。

●64階調ハーフトーン：中間調画質とは

写真やイラストなど、微妙な濃淡のある原稿でも細部が黒くつぶれてしまうことなく美しく送ることができます。

- 送信やコピーが終わったときに、画質選択をどのモードに戻すかの設定ができます。お買い上げ時は、戻らない(設定したまま)に設定されています。

(応：P12～17)

●画質選択を写真にしたときの送信選択

写真などの中間調画質の原稿は、「送信時間優先」または「画質優先」のどちらかが選べます。

(応：P12～17)

お買い上げ時は、「画質優先」に設定されています。

画質優先：画質は良くなりますが、送信時間は長くなります。

送信時間優先：送信時間は短くなりますが、画質は多少悪くなります。



告知板

- コピーのときは画質選択を「標準」に設定しても自動的に「細かい」に設定されます。
- 「精細」に設定して送信しても、相手側ファクシミリに「精細」モードがないときは、自動的に「細かい」に切り替えて送信します。
- 送信時間は、「標準」⇒「細かい」⇒「精細」⇒「写真」の順に長くなります。

画質選択の種類について

標準

新聞文字より大きな文字

- スーパーLCRとは、普通にダイヤルするだけで相手先の場所・曜日・時間帯などから判断して、NTTの市外局番、日本テレコムや第二電電、日本高速通信の中から、おトクな市外回線を自動的に選ぶ機能です。

細かい

新聞文字程度の文字

- スーパーLCRとは、普通にダイヤルするだけで相手先の場所・曜日・時間帯などから判断して、NTTの市外局番、日本テレコムや第二電電、日本高速通信の中から、おトクな市外回線を自動的に選ぶ機能です。
- テープ不要のDSP録音でテープメカの故障知らず。音声デジタル処理するため、スキップ再生や素早い再生・消去が可能です。留守中にかかってきた用件も、外出先からでもリモート操作で素早く呼び出せ、また、通話料金も安上がりです。

精細

新聞文字より小さい文字

- スーパーLCRとは、普通にダイヤルするだけで相手先の場所・曜日・時間帯などから判断して、NTTの市外局番、日本テレコムや第二電電、日本高速通信の中から、おトクな市外回線を自動的に選ぶ機能です。
- テープ不要のDSP録音でテープメカの故障知らず。音声デジタル処理するため、スキップ再生や素早い再生・消去が可能です。留守中にかかってきた用件も、外出先からでもリモート操作で素早く呼び出せ、また、通話料金も安上がりです。

写真(64階調ハーフトーン：中間調画質)



3

基本的な使い方

原稿をセットする

原稿は一度に5枚までセットできます。

原稿をセットするには



お願い・・・・・・・・・・・・・・・・

- インク、のり、修正液等は完全に乾かしてからセットしてください。故障の原因になります。
- セットした原稿やつまった原稿を無理に引き抜かないでください。無理に引き抜くと、原稿が破れたり、故障の原因になります。



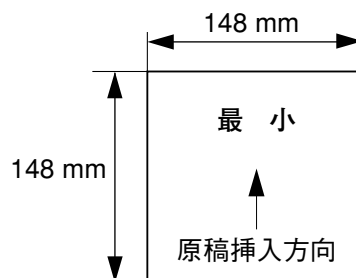
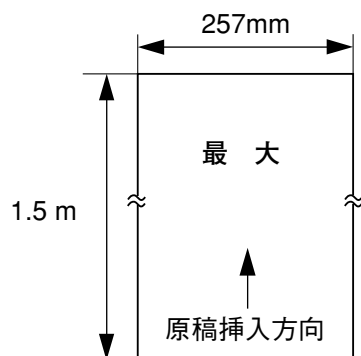
告知板・・・・・・・・・・・・・・・・

- クリップやホッチキスは必ず取り除いてください。故障の原因になります。
- 原稿が引き込まれないときや原稿がつまった場合は応用編84ページ『原稿がつまったとき』の操作手順に従い、原稿を取り出してください。
- 2枚以上の原稿をセットするときは、原稿の先端をそろえてください。

- テガキ送信機能が設定（テガキボタン点灯）されているときに原稿をセットすると、電話番号の読み取り動作を行いません。（応：P30）
このときは、コピー（基：P28）や国際送信モードの設定（応：P25）ができません。コピーをするときや国際送信モードを使った送信をするときは、テガキ送信機能の設定を解除（テガキボタン消灯）してから原稿をセットしてください。（応：P30）

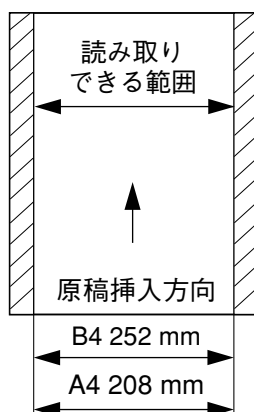
原稿について

■送信／コピーできる原稿の大きさ



これ以外の大きさの原稿は
複写機で拡大／縮小してから
送信／コピーしてください。

■読み取りできる範囲



斜線の部分は
読み取りできません。

■送信できる原稿の厚さ

1枚だけ送る場合 0.05mm～0.15mm

2枚以上送る場合 0.08mm～0.1mm

この取扱説明書の紙厚は約0.08mmです。

※薄い原稿（0.05mm以下）や厚い原稿
（0.15mm以上）は、ハンドコピーを
お使いください。（応：P26）

※ハンドコピーを使用するときの原稿については、応用編26ページをお読みください。



メモ

●原稿について

次のような原稿は、複写機でコピーしたものをお使いください。

- ・しわや折り目のある原稿
- ・破れている原稿
- ・カーボン紙・裏カーボン紙
- ・カールの激しい原稿
- ・写真や印画紙などの表面がツルツルしている原稿

●自動縮小機能

送信する原稿のサイズが、相手側ファクシミリの記録紙サイズより大きい場合は、自動的に幅や長さを縮小して送信します。

自動縮小機能は、メモリスイッチNo.19でオン（する）／オフ（しない）の設定ができます。お買い上げ時は「オン」（する）に設定されています。（応：P12～17）

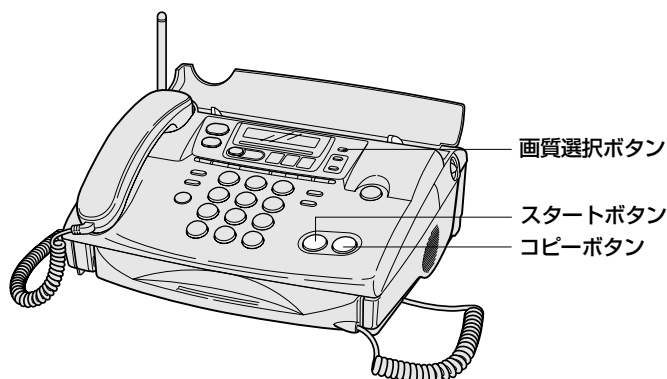
3

基本的な使い方

コピーをする

原稿を等倍・拡大・縮小でコピーすることができます。

コピーのしかた



1 画質選択ボタンを押して「細かい」「精細」「写真」のいずれかを選ぶ

画質選択



<例：「細かい」を選んだとき>

コマカイ

00

2 原稿を裏向きにして入れる



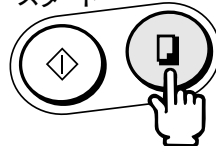
コマカイ

00

3 コピーボタンを押して倍率を選ぶ

コピーボタンを押すたびに「トウバイ」→「カクダイ」→「シュクショウ」に変わります。

スタート コピー

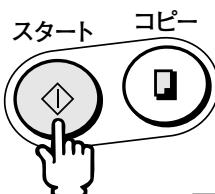


<例：「等倍」を選んだとき>

コピーバ イリツ? トウバ イ

4 スタートボタンを押す

コピーを始めます。コピーが終わると記録紙が自動的に切り取られ「ピー」という音が鳴ります。



*** コピー ***



メモ.....

●コピーの大きさ

等倍：原稿と同じ大きさ

拡大：原稿を125%に拡大

縮小：原稿を85%に縮小

●コピーを途中でやめるには

停止／クリアボタンを押します。

●コピー中に電話がかかってきたときは

受話器を取りあげると、相手が電話であればそのまま話ができます。ファクスの場合、受信に切り替えたいときは、停止／クリアボタンを押してコピーを停止させ、原稿が排出されたのを確認後、スタートボタンを押してください。



告知板.....

●コピーのとき、画質選択は「細かい」、「精細」、「写真」のいずれかが選べます。「標準」を選んでも、自動的に「細かい」に設定されます。

●画質選択を設定しないで原稿をセットしたときは、前に設定したモードが表示されます。

●原稿をセットした後からでも、画質選択の設定を変えることができます。

記録紙の自動カットについて

受信やコピーが終わったあと、記録紙の自動カットを行なわないように設定できます。
お買い上げ時は、「オン」に設定されています。

1. セットボタンを押したままスタートボタンを押す

ジ・ト・ウ・カット・オン ?

2. 機能ボタンを押して「オフ」を選ぶ

ジ・ト・ウ・カット・オフ ?

3. セットボタンを押す

⇒「ピー」という音が鳴り、設定が終わります。

- 記録紙の自動カットのオン／オフは、メモリスイッチ No.53（カッター機能）で設定することもできます。
(応：P12～17)
- 記録紙の自動カットを「オフ」に設定したときは、記録紙は切り取られずに、切り取り位置に破線が印刷されます。このときは、スタートボタンを押すと、破線で記録紙が切り取られます。
- 記録紙の自動カットを「オン」に設定していても、コピーやメモ用紙の印刷などを途中で中止したときに記録紙の排出が40mm以下の場合は、記録紙は切り取られません。

コピーについてのご注意

何でもコピーしてもよいということはありません。特に法規によってそのコピーをとるだけでも罰せられることがありますので、次の点に注意してください。

■法規により禁止されているもの

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、地方債証券はコピーすることを禁止されています。たとえ見本の印が押してあってもコピーすることはできません。
- 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピーも禁止されています。
- 政府発行の模造許可をとらない限り、未使用郵便切手、官製はがき類はコピーすることを禁止されています。
- 政府発行の印紙、酒税法や物品税法で規定されている証券類のコピーも禁止されています。

■コピーに注意を要するもの

- 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行券、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうがよいと考えられます。
- 民間発行の有価証券（株券、小切手、手形類）、定期券、回数券などは、事業所が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。

■著作権にも注意してください。

- 著作権の目的となっている書籍、絵画、写真、図画地図、楽譜などの著作物は個人的に、または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除いてコピーは禁止されています。

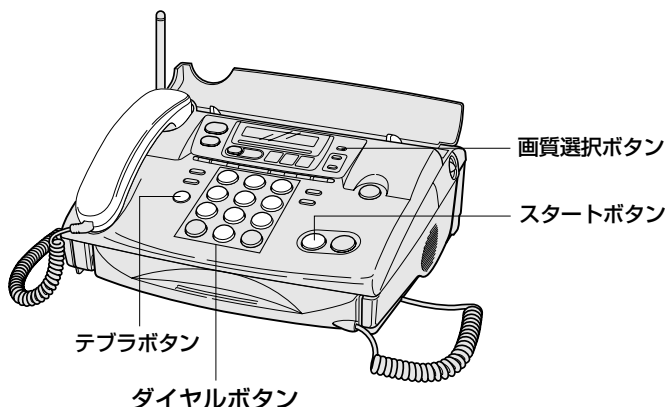
3

基本的な使い方

ファクスを送る

B4サイズまでの原稿を一度に5枚までセットして送ることができます。相手と話をしたあと送信する方法（手動送信）と自動で送信する方法（自動送信）があります。

通話後、ファクスを送るには（手動送信）



1 画質選択ボタンを押して画質の種類を選ぶ

画質選択



ヒョウジ ユン 00

2 原稿を裏向きにして入れる



ヒョウジ ユン 00

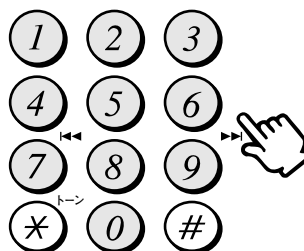
3 受話器を取りあげる、またはテブラボタンを押す

外線ランプが点灯し、「ツー」という発信音が聞こえます。



ヒョウジ ユン 00

4 相手先へダイヤルする



1 2 3 4 5 6 7 8 9

通話後、ファクスを送るには（手動送信）



メモ.....

- 6枚以上送りたいときは
1枚送信が終わるごとに次の原稿を入れてください。
- 電話番号を間違えたときは
受話器を取りあげてダイヤルしたとき
受話器を戻す⇒再び取りあげる⇒ダイヤルし直す
テブラボタンを押してダイヤルしたとき
テブラボタンを押す⇒再度テブラボタンを押す⇒ダイヤルし直す
- 送信を途中で止めるには
停止／クリアボタンを押してください。
- 送信が正常にできなかったときは
ファクスランプが点滅します。停止／クリアボタンを押して消灯させ、再度送信し直してください。
- ファクスの送信後に呼び出し音が鳴ったときは
相手が通話のための呼び出しを行なっています。
受話器を取りあげると相手と話ができます。
- 送信した結果を確かめるには（応：P8）
- おまかせ機能を解除するには（応：P12～17）

5 通話後ファクスを送ることを伝え ファクス受信に切り替えてもらう

ファクスに切り替わると「ピーヒョロロ」という音が聞こえます。

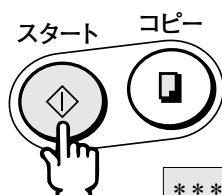


通話中は、通話時間が表示されます。

0' 00' 23"

6 スタートボタンを押す

ファクスランプが点灯し、送信を始めます。
※「ファクシミリに切り替えます」というメッセージが聞こえたら、スタートボタンを押さなくても自動的にファクスの送信を始めます。（おまかせ機能）



*** ソウシンチュウ ***

7 受話器を戻す

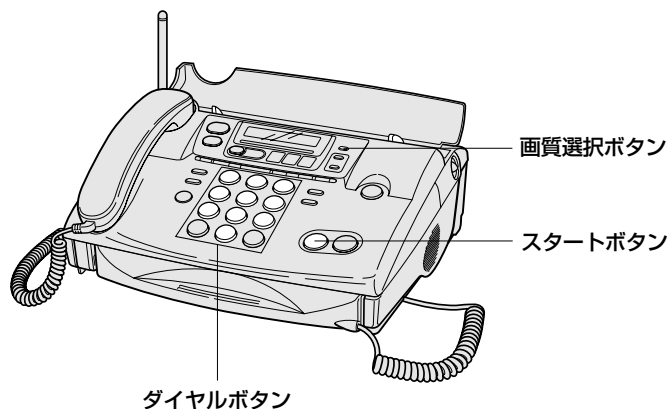
送信中は、相手が登録している名前または電話番号が表示されます。
送信が終了すると、「ピー」という音が鳴って外線ランプとファクスランプが消えます。またディスプレイに通信時間が約5秒間表示されます。



告知板・・・・・・・・・・・・・・・・

- 画質選択を設定しないで原稿をセットしたときは、前に設定したモードが表示されます。
- 原稿をセットしたあとから、画質選択ボタンを押して設定をかえることもできます。
- 子機で相手先にダイヤルしたときは、ファクスの送信はできません。
- 送信中の表示について
相手が電話番号に国コード等をつけて登録しているときは、表示される相手先番号がダイヤルした番号と異なる場合があります。（日本の国コードは「81」です）ただし、相手が何も登録していない場合は、相手先へダイヤルした電話番号が表示されます。
- 通話時間の表示について
こちらから電話をかけて相手と通話した時間がディスプレイに表示されます。ファクスを送ったときは、送信終了後に約5秒間表示されます。
また、スーパーLCRを契約されると、通話時間と通話料金が表示されます。通話時間、および通話料金をディスプレイに表示したり、しないように設定することができます。また、表示する場合に「親機を使ったときに表示する」か「親機、子機のどれを使っても表示する」かを設定することができます。
お買い上げ時は、「親機を使ったときに表示する」に設定されています。（応：P12～17）
※構内交換機に接続してお使いのときや、フリーダイヤルなどで電話をかけたりファクスを送ったときは通話時間および通話料金は表示されません。

自動でファクスを送るには（自動送信）



メモ

●相手が通信中のときには（自動再ダイヤル）

自動送信の場合、相手が通信中などで送信できなかったときは、再ダイヤル待ちになり、2～3分間隔で自動的に3回再ダイヤルします。再ダイヤル待ちのときは「サイダイヤルマチ」と表示されます。再ダイヤルの回数を変更したり、再ダイヤルしないように設定することもできます。（応：P12～17）

●再ダイヤル待ちを取り消すには

停止／クリアボタンを押すと再ダイヤル待ちが取り消され、もう一度停止／クリアボタンを押すと原稿が排出されます。

●送信を途中で止めるには

停止／クリアボタンを押してください。

●電話番号を間違えたときは

停止／クリアボタンを押して、ダイヤルし直してください。

●送信が正常にできなかったときは

ファクスランプが点滅します。停止／クリアボタンを押して消灯させ、再度送信し直してください。

●送信した結果を確認するには（応：P8）



告知板

●自動再ダイヤルしても送信ができなかったときは、ファクスランプが点滅します。停止／クリアボタンを押してランプを消し、時間をおいてから再度送信し直してください。

●送信中の表示について

相手が電話番号に国コード等をつけて登録しているときは、表示される相手先番号がダイヤルした番号と異なる場合があります。（日本の国コードは「81」です）ただし、相手が何も登録していない場合は、相手先へダイヤルした電話番号が表示されます。

1 画質選択ボタンを押して画質の種類を選ぶ

画質選択



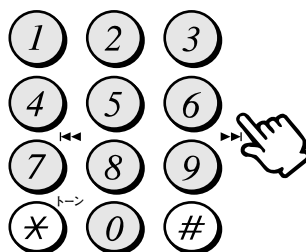
ヒョウジ ユン 00

2 原稿を裏向きにして入れる



ヒョウジ ユン 00

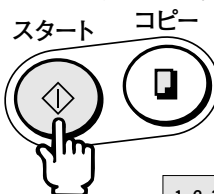
3 相手先へダイヤルする



1 2 3 4 5 6 7 8 9

4 スタートボタンを押す

外線ランプとファクスランプが点灯し、自動的にダイヤルを始めます。



1 2 3 4 5 6 7 8 9

<相手先につながると、自動的に送信を始める>

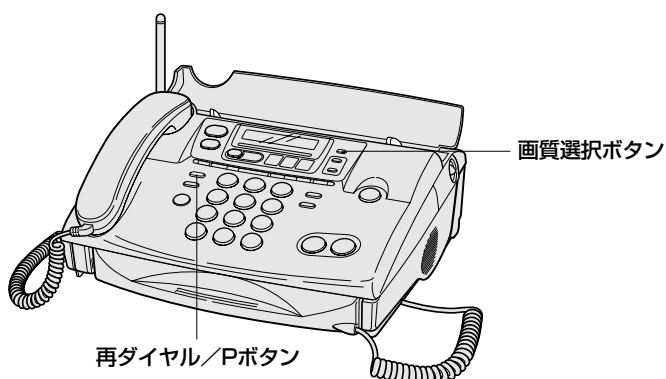
送信中は、相手が登録している名前または電話番号が表示されます。

送信が終わると、「ピー」という音が鳴って、外線ランプとファクスランプが消えます。また、ディスプレイに通信時間が約5秒間表示されます。

同じ相手にファクスを送り直す（再ダイヤル送信）

最後にダイヤルした相手に、再ダイヤル／Pボタンを押すだけでファクスを送ることができます。

送信のしかた



1 画質選択ボタンを押して画質の種類を選ぶ

画質選択



ヒョウジ ユン 00

2 原稿を裏向きにして入れる



ヒョウジ ユン 00

3 再ダイヤル／Pボタンを押す

外線ランプとファクスランプが点灯し、ディスプレイに表示された電話番号が自動的にダイヤルされます。

再ダイヤル／P



短縮

1 2 3 4 5 6 7 8 9

<相手先につながると、自動的に送信を始める>

送信中は、相手が登録している名前または電話番号が表示されます。

送信が終わると、「ピー」という音が鳴って、外線ランプとファクスランプが消えます。また、ディスプレイに通信時間が約5秒間表示されます。



告知板・・・・・・・・・・・・・・・・

- 原稿を入れずに再ダイヤル／Pボタンを押すと「ゲンコウセットシテクダサイ」と表示され「ピピピピピ」という音が15回鳴ります。原稿を入れるかまたは、停止／クリアボタンを押してください。

ファクスを受ける

相手先から送信されたファクスは、「電話モード」、「ファクスモード」、「留守モード」のいずれの受信モードでも受信することができます。使いかたに合わせた受信モードに設定してください。

また、NTTのダイヤルインサービスを契約されまると、「オンリーコール機能」が使える、ファクスと電話を上手に使い分けることができます。（応：P64）お買い上げ時は、「電話モード」に設定されています。

電話モード

ファクスの受信が少なく、電話がかかってくる
ことが多い場合に便利です。

（基：P35）



ファクスモード

ファクスの受信が多い場合に便利です。

（基：P36）



留守モード

留守中にファクスと電話の両方を受けたい場合
に便利です。

（基：P37）



電話モード／ファクスモードを選ぶには

1 機能ボタンを押す



1：ホーリング シュシン？

2 ダイヤルボタンの【6】を押し
セットボタンを押す

1：ダイヤル ホウシキ？

3 ダイヤルボタンの【2】を押し
セットボタンを押す

シュシンモード：デンワ

4 機能ボタンを押して受信モード
（デンワまたはファクス）を選ぶ

機能ボタンを押すたびに「デンワ」⇒「ファクス」⇒「オンリー」の順に変わります。



シュシンモード：デンワ

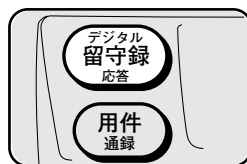
5 セットボタンを押す



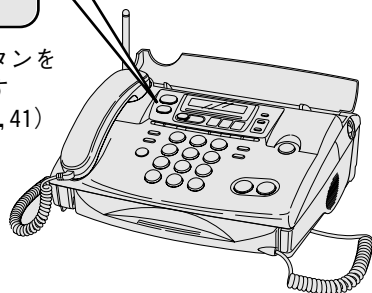
3：ナイセン ヨビ ダシ？

6 停止／クリアボタンを押す

留守モードを選ぶには



留守録／応答ボタンを
押して設定します
（基：P40, 41）



電話モードで受けるには

設定した回数の呼び出し音が鳴ります。
呼び出し音の鳴る回数を変更することができます。
お買い上げ時は、15回に設定されています。
(応：P12～17) [呼び出し回数]



呼び出し音が鳴り終わると…



呼び出し音が鳴っている間に
受話器をとると…

ポーポーと音がしたとき

スタートボタンを押し
受話器を戻します。

「ファクシミリに切り替えます」というメッセージが聞こえたら、スタートボタンを押さなくても、自動的にファクスの受信を始めます。
(おまかせ機能)



相手先が電話のとき

そのまま話ができます。



音声応答メッセージ①を相手に流したあと
ファクスの受信に切り替わります。

ファクスの受信を始めます。



呼出音の鳴る回数を11回以上に設定しているとき、相手が自動送信で送ると受信できないことがあります。

相手がファクスを送ると言ったとき



スタートボタンを
押し、受話器を戻
します。

ファクスの受信を始めます。



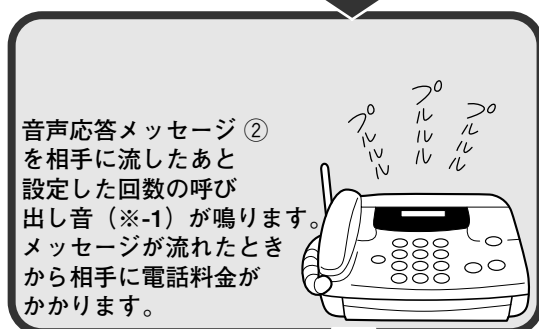
●音声応答メッセージ①

「ただいま出かけております。ファクシミリに切り替えます」

●ファクスの受信後に呼び出し音が鳴ったときは

相手が通話のための呼び出しを行なっています。
受話器を取り上げると相手と話ができます。

ファクスモードで受けるには



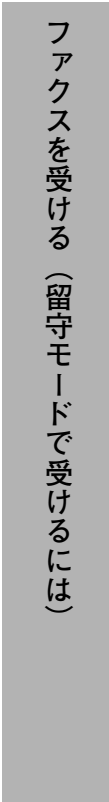
(※-1) 呼び出し音の鳴る回数を変更することができます。
(応：P12~17) [自動切り替え]



- 音声応答メッセージ①
「ただいま出かけております。ファクシミリに切り替えます」
- 音声応答メッセージ②
「しばらくお待ちください」

- 呼び出し音が鳴っているときに相手が先に電話を切っても、設定した回数の呼び出し音が鳴る場合があります。
- 記録紙がなくなったときには、内蔵のメモリが代わって受信内容を記憶します。(応：P36「メモリ代行受信」)

留守モードで受けるには

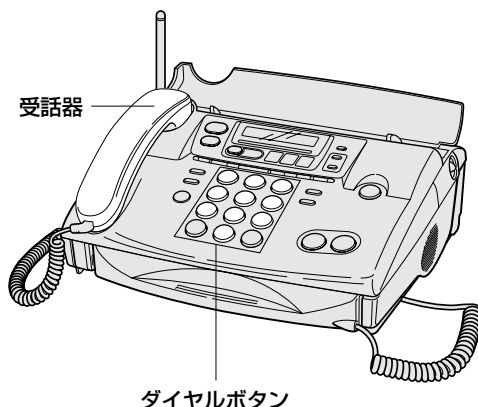


●記録紙がなくなったときには、内蔵のメモリが代わって受信内容を記憶します。(応:P36「メモリ代行受信」)

電話をかける／受ける

親機で電話をかけるには

親機で電話を受けるには



1 受話器を取りあげる

外線ランプが点灯し、「ツー」という発信音が聞こえます。

3月28日 15:40 00

2 相手先へダイヤルする

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

3 相手と話す

通話中は通話時間が表示されます。

0' 00' 23"

4 話が終わったら受話器を戻す

通話時間が約5秒間表示されたあと、時刻表示画面に戻ります。

1 呼び出し音が鳴ったら受話器を取りあげる

外線ランプが点灯します。

2 相手と話す

3 話が終わったら受話器を戻す

外線ランプが消灯します。



メモ.....

●親機で操作ができないときは

子機が使用中のときは、ディスプレイに使用中の子機番号または、名前（登録されているときのみ）（応：P9）が表示されます。このときは親機は使えません。

●相手の声が聞き取りにくいときには（受話音量）

通話中に音量ボタンの[▲]を押すと音量が「大」になりディスプレイに[ジュワレベル： オオキイ]と表示されます。音量ボタンの[▼]を押すと「標準」になり、[ジュワレベル： フツウ]と表示されます。



メモ.....

●電話に出たとき「ポーポー」という音が聞こえたら

ファクスの送信音です。スタートボタンを押すとファクスの受信ができます。ただし、「ファクシミリに切り替えます」というメッセージが聞こえたときはスタートボタンを押さなくても自動的に受信を始めます。（おまかせ機能）

●呼び出し音の大きさを切り替えるには（応：P45）

●呼び出し音の鳴る回数は

設定している受信モードによって、呼び出し音の鳴る回数が異なります。（基：P35,36,37、応：P16）

子機で電話をかけるには

1

充電器から取りあげる

外線ボタンとダイヤルボタンが点灯し、「ツー」という発信音が聞こえます。充電器から外しているときは、外線ボタンを押してください。

2

相手先へダイヤルする

3

相手と話をする

4

話が終わったら充電器に戻す

充電器に戻さないときは、切ボタンを押してください。

子機で電話を受けるには

1

呼び出し音が鳴ったら 充電器から取りあげる

充電器から外しているときは、外線ボタンを押してください。

2

相手と話をする

3

話が終わったら充電器に戻す

充電器に戻さないときは、切ボタンを押してください。



メモ・・・・・・・・・・・・・・・・

●子機で操作ができないときは

親機が使用中のときは「ピピピ」、他の子機が使用中のときは「ピピピピピ」と鳴り子機は使えません。

●相手の声が聞き取りにくいときには（受話音量）

通話中に外線ボタンを押すと音量が「大」になり、再度外線ボタンを押すと「標準」になります。

お買い上げ時は「標準」に設定されています。「大」に設定すると、次に通話するときも「大」のままです。バッテリーが消耗すると、「標準」に戻ります。



告知板・・・・・・・・・・・・・・・・

●子機を充電器から取りあげ、約5秒間何もしないと「ピーピー、ピーピー…」と警告音が鳴り、外線ボタンが点滅します。さらに約10秒間何も操作しないと電話が切れます。

充電器から取りあげてから約15秒以内に外線ボタンを押すと、電話は切れません。



メモ・・・・・・・・・・・・・・・・

●電話に出たとき「ボーボー」という音が聞こえたら

ファクスの送信音です。ダイヤルボタンを[3][3]と押すとファクスの受信ができます。（リモート受信応：P23）ただし、「ファクシミリに切り替えます」というメッセージが聞こえたときは、[3][3]を押さなくても自動的に受信を始めます。（おまかせ機能）

●呼び出し音の大きさを切り替えるには

呼び出し音量を3段階に切り替えることができます。

（応：P45）



告知板・・・・・・・・・・・・・・・・

●子機の呼び出し音は、コードレス電話機の性質上親機より少し遅れて鳴ります。子機で受けるときは、子機の呼び出し音が鳴り始めてからにしてください。

留守番電話として使う

留守モードに設定すると、外出中に電話をかけてきた相手に対して応答メッセージを流し、用件を録音します。あらかじめ内蔵されている固定応答メッセージを利用すれば、すぐに留守番電話として使えます。また、自作の応答メッセージを利用することもできます。なお、留守中にファクスが送られてきたときは、自動的に受信します。

留守モードについて

外出するとき

留守モードに設定する

デジタル
留守録
応答

ボタンを押して、留守モードに設定します。

(基：P41)

固定応答メッセージ（女性の声）または、自作応答メッセージ（応：P53）を選んで設定することもできます。

外出中

用件が録音される



相手が電話をかけてくると…



相手がファクスを送ると…



用件を録音する



自動的に受信する

帰宅したら

用件を聞く

用件
通録

ボタンを押して録音された用件を聞きます。

(基：P42)

外出中に用件が録音されていると、用件／通録ボタンが点滅し、ディスプレイに用件の件数が表示されます。



お願い……………

●万一、留守番機能が使えない場合は、応用編63ページ『留守番機能を初めの設定に戻す』の操作手順に従い、「オールイニシャル」を選んで設定してください。



告知板……………

■外出先から用件を聞くことができます。また、留守モードの設定を忘れて外出したときは、留守モードに設定することができます。(応：P54～57)

留守モードの設定について



留守録／応答ボタン

1 留守録／応答ボタンを押す

留守録／応答ボタンが点灯し、応答メッセージが流れます。



オウトウ メッセージ

3月28日 15:30 00



メモ

- 自作応答メッセージを録音するには（応：P53）
- 録音できる時間と件数
録音できる時間は約15分（自作応答メッセージ、通話録音を含む）、件数は最大99件です。
※録音時間の短い用件が多い場合は、録音できる時間が15分より短くなることがあります。
- 用件の録音中に録音時間がなくなると
録音時間がいっぱいになると、録音を停止し電話が切れます。
- 留守モードを解除するには
留守録／応答ボタンを押すと「ルスモード カイジョ シマシタ」と表示され、留守録／応答ボタンが消灯して留守モードが解除されます。
- 用件の録音時間を変更するには（応：P62）



告知板

- 応答メッセージが流れているときは、電話がかかってきても呼び出し音は鳴りません。

外出中に電話がかかってくると…

相手先が電話のときは用件を録音し
相手先がファクスのときは自動的に受信する

<電話の場合>

応答メッセージが流れた後
用件を録音します。
録音中は相手の声が
スピーカから聞こえます。



<ファクスの場合>

自動的に受信します。



■固定応答メッセージの種類

次のような場合は、固定応答メッセージに自動的に切り替わります。

固定応答メッセージ①：自作応答メッセージが録音されていないとき

「ただいま出かけております。ピーと鳴りましたら、お名前とご用件をお話してください。
ファクシミリの方は送信してください」

固定応答メッセージ②：録音できないとき

「ただいま出かけております。ファクシミリの方は送信してください」

固定応答メッセージ③：記録紙がなく、メモリ代行受信もできないとき

「ただいま出かけております。ピーと鳴りましたら、お名前とご用件をお話してください」

固定応答メッセージ④：記録紙がなく、メモリ代行受信、録音もできないとき

「ただいま出かけております。またお電話ください」

留守番電話として使う

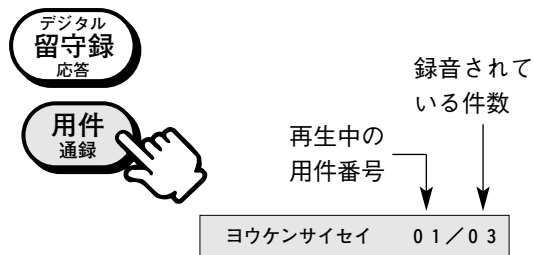
外出中に用件が録音されていると、親機の用件／通録ボタンが点滅し、ディスプレイに用件の件数が表示されます。

録音された用件を聞くには



1 用件／通録ボタンを押す

用件／通録ボタンが点灯して、用件の再生が始まります。



2 用件を聞く

再生中にできる操作は

- 次の用件に飛びこす (9) を押す
- 聞いている用件の用件ガイドに戻す (7) を押す
- 聞いている用件の最初に戻す (8) を押す
- 1つ前の用件に戻す (7) を押す (用件ガイドの再生中に)



用件が再生される前に、用件ガイドを流してお知らせします。

すべての用件を聞き終わると…

「スベテショウキョシマスカ?」と表示し「ピピッ」と2回鳴る

- | | |
|--|---|
| <p><用件を残したいとき>
停止／クリアボタンを押す、または何もしない</p> | <p><用件を消去したいとき>
2回鳴り終わる間に消去ボタンを押す</p> |
|--|---|



メモ……………

●再生を中止するには

再生を途中で中止するには、停止／クリアボタンを押します。

●用件が録音されていないときは

用件／通録ボタンを押すと「ピピピピピ」という音が鳴り「メッセージ ガ アリマセン!」と表示されます。

●用件再生中に電話がかかってきたら

再生を停止して呼び出し音が鳴りますので、受話器を取りあげると話ができます。

●用件を自動的に消去するには

オート消去機能を設定しておく、すべての用件を自動的に消去することができます。お買い上げ時はオート消去機能は設定されていません (応:P10)



告知板……………

- 用件ガイドとは、用件が再生される前に用件番号とタイムスタンプ (応:P61) を流してお知らせすることです。

用件ガイドの例: 「用件1、28日午後4時30分、録音時間1分18秒です」

- 録音中に相手が約6秒間、何も話さなかったときは (無音状態)、自動的にファクスの受信に切り替わり録音が終了します。そのような場合でも、用件の1つとして数えられます。
- 約3秒以内に相手が電話を切ると、録音されません。
- 相手が音楽などで用件を録音している場合は、途中で電話が切れて録音が終わることがあります。

録音された用件を消去するには



すべての用件を消去する

1 消去ボタンを押したまま 用件/通録ボタンを押す

「ピー」という音が鳴り、すべての用件が消去されます。



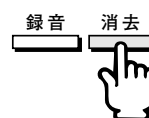
ショウキョ チュウ



ショウキョ シマシタ

用件を1件ずつ消去する

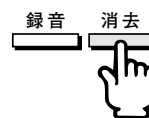
1 消したい用件の再生中に 消去ボタンを押す



ショウキョ シマスカ ?

2 もう一度、消去ボタンを押す

「ピー」という音が鳴り、用件が消去されます。



ショウキョ シマシタ



メモ

- 誤って消去ボタンを押したとき
停止/クリアボタンを押してください。



告知板

- 再生中にすべての用件を消去することはできません。

総合相談窓口

家電製品についての全般的なご相談は最寄りの下記電話番号にお問い合わせください。

- | | |
|----------|---------------------|
| ◆北海道地区 | ☎札幌 (011) 290-1522 |
| ◆東北地区 | ☎仙台 (022) 714-6137 |
| ◆関東地区 | ☎東京 (03) 3815-1111 |
| ◆中部・北陸地区 | ☎名古屋 (052) 533-5245 |
| ◆近畿・四国地区 | ☎大阪 (06) 994-9570 |
| ◆中国地区 | ☎広島 (082) 544-6036 |
| ◆九州・沖縄地区 | ☎福岡 (092) 263-7629 |

営業時間

月曜日～金曜日（祭日および当社の休日を除く）
9：00～12：00、13：00～17：00

郵便・FAXでご相談される場合は

- ◆東京お客さまセンター
FAX (03) 5803-3699
〒113-8434 東京都文京区本郷3-10-15
- ◆大阪お客さまセンター
FAX (06) 994-9510
〒570-8677 大阪府守口市京阪本通2-5-5

修理や部品に関するご相談は、お買い上げ販売店、または応用編94ページの修理相談窓口にお問い合わせください。

三洋電機株式会社

鳥取三洋電機株式会社 営業本部 FAX企画課

〒570-8502 大阪府守口市大日東町1番1号 電話 大阪(06)900-3787